

竹の台地域委員会 「高齢」にかかわる勉強会

めざせ！ Happy100 年人生

第 8 回「ワークショップ」 要旨

1 日 時：平成 31 年 1 月 19 日（土）13：30～15：00

2 場 所：たけのパーク フリースペース

3 参加者：19 名

4 主な内容

(1) 筧委員長あいさつ

- ・昨年 6 月から 12 月の間に 7 回の勉強会をしてきたが、本日はこれまでの内容をふり返ったうえで、意見交換をする場としたい。
- ・高齢者の増加に伴う諸問題に対応し、安全・安心なまちづくりをめざしていくために、地域でどのような取り組みを進めたらよいかについて提案してほしい。

(2) ワークショップ

- ・これまでの内容を全員でふり返ったあと、4～5 名ずつの 4 つのグループに分かれて、「ワールドカフェ」方式のワークショップを行った。
- ・各グループでは、これまでの勉強会で分かったこと、分かりにくかったこと、こうしようと思ったことなどを模造紙に書き出しながら話し合い、これらの意見をグループの代表者が発表した。
- ・その後、メンバーをチェンジして、「地域で取り組むとよいと思う活動」や「あったらよいと思う制度・サービス」などについて意見を出し合い、最終的な提案を短冊紙に書き出して、それぞれのグループが発表した。

(3) 主な提案

- ・自由に参加して集まれる場づくり
- ・閉じこもりの人でも集まれる居場所づくり
- ・市営住宅の集会所を地域に開放し、地域のみんなで活用する
- ・たけパーと福祉センターに紙の情報（週刊誌、広報誌、各種リーフレットなどをバックナンバーも揃えて）を集め、自由に見ながら、会話が生まれる場所にする
- ・よろず相談所を設け、難しい制度のことなど（スマホの使い方なども）を教えてくれたり、時にはグチを聞いてくれたりする人を配置する（超高齢者向きには出前もする）
- ・温泉（健康の湯、足湯）を掘る
- ・地域のお助け隊（家事やごみ出しなど）をつくる
- ・大人のあいさつ運動をする（認知症の人の把握）
- ・地域の見守り力を高める（回覧板を回すときの声掛けなど）
- ・民生委員（一人暮らしの人などを把握している）に地域の会合に参加してもらう

※ これらの提案は、今後、「第 2 次 竹の台地域 5 年計画」を策定する際の検討材料とすることとなった。